

令和7年度 第4回東京都相談支援従事者研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和8年3月9日（月曜日） 14時から14時50分まで

出席者 吉川委員、稲垣委員、神作委員、芝委員、修理委員、高江洲委員、辻委員、蛭川委員  
藤田委員、古橋委員、横田委員

欠席者 なし

傍聴 5名

事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 他4名

1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料確認 次第 資料1 検討部会報告書 資料2 令和7年度東京都相談支援従事者研修検討会 活動報告（事務局案） 資料3 令和8年度相談支援従事者研修検討会 検討部会体制（案）</li> <li>・本日の検討会は、記録のため速記の方が参加をし、録音をすること、指定研修事業者の傍聴があることについてもご了解いただきたい。</li> <li>・資料の公開について、検討会設置要綱資料の2の7の規定により、議事録及び資料は公開することになっているが、本日の出席委員の議決により、非公開ということもできる。公開の場合、東京都心身障害者福祉センターのホームページで掲載するがよろしいか。</li> </ul>
各委員	（了承）

2 検討事項

（1）各検討部会からの報告と引継ぎ事項

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各検討部会からの報告と引継ぎ事項として、内容整理、人材育成、サポーター各部会の部会長から、本年度の取組内容、成果、課題、次年度への引継ぎ事項、ほかの部会から意見が欲しいことなどについて5分程度で報告をいただきたい。</li> <li>・まず、内容整理部会、高江洲副委員長から報告をお願いします。</li> </ul>
高江洲副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1点目として、相談支援専門員の役割紹介資料を作成した。昨年度から継続して作成していた行政向け「私たちが目指す相談支援専門員の姿」について内容確認を行い、資料名称を「相談支援専門員役割紹介」に決定した。当該資料は、令和7年度初任者研修の実習説明会で説明・配付した。</li> <li>・2点目、補助教材について、令和7年度は初任者研修の内容変更が予定されていたため、ファシリテーター説明会の動画配信は中止とした。</li> <li>・一方、演習指導者養成研修受講者向けの動画配信は継続して実施した。初任者研修ファシリテーターアンケートの結果を確認した上で、次年度の動画配信の実施について検討することとした。</li> <li>・その他の動画については、必要性が生じた場合に内容を含めて検討する方針と</li> </ul>

	<p>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3点目、地域資源調べについて。令和7年度主任研修における地域資源調べの資料について、主任研修チームで検討されたものを承認した。令和8年度の現任研修及び初任者研修については、現行内容を継続する予定。</li> <li>・ 4点目、共通事例については、令和8年度現任研修部会において、研修内容に反映してもらえるよう依頼した。</li> <li>・ 次年度への引継ぎ事項について</li> <li>・ 1点目として、相談支援専門員役割紹介資料については、検討会委員やファシリテーターが実際に資料を使用してみての、感想等を収集することとした。結果を踏まえ、必要に応じて5年程度を目安にバージョンアップを検討する方向。また、研修資料への反映については、作成経緯や意図を各研修部会に共有した上で、盛り込んでもらうこととした。具体的な説明文については、資料に記載された説明文を確認いただきたい。</li> <li>・ 2点目、動画配信、補助教材については、必要性に応じて検討を行う方針とした。演習指導者養成研修受講者向け動画については、ファシリテーターアンケートの結果を踏まえ、引き続き検討する。</li> <li>・ 3点目、地域資源調べ資料の見直しについて、書式等の見直しは、令和9年度現任研修からの使用を目指し、検討を進めることとした。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高江洲副委員長からの報告について、補足、意見、質問等ないか。</li> </ul>
各委員	(質問等なし)
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次に、人材育成部会、稲垣副委員長から報告をお願いする。</li> </ul>
稲垣副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ はじめに、実習説明会について、内容の改善を行った。研修における実習の目的を整理し、ポイントを分かりやすくまとめたスライドを実習説明会で使用した。</li> <li>・ また、実習実施にあたり、事前打合せや振り返りを丁寧に行っている2自治体から、今後の参考とするため、取組紹介の時間を設けた。その結果、例年、グループワーク時に退席する参加者が多かったが、今年度はほとんどの参加者が最後まで参加し、他自治体の取組を知ることによって実習対応が変わったところもあったようなので、大きな成果があったと感じている。</li> <li>・ さらに、初任者研修部会との連携により、実習前に心構えができるよう、初任者研修5日目に、実習の意図を伝えるスライドを追加した。</li> <li>・ 次に、ファシリテーター育成の検討については、ファシリテーターの力量差が明確になってきたことから、ファシリテーター説明会においてファシリテーションスキルに関する説明を追加した。次年度も継続して実施する予定。</li> <li>・ 次年度への引継ぎ事項について。</li> <li>・ 実習対応者が法定研修の内容を十分に理解していない場合があることから、本来は演習指導者養成研修の受講が望ましいものの、定員超過のため代替手段として、実習説明会において研修の意図を理解してもらえるよう働きかけてい</li> </ul>

	<p>く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習説明会の参加者は増加傾向にある一方で、拠点機関全体まで通知が行き届いていないケースもあるようなので、今後、アプローチ方法を検討していきたい。</li> <li>・次に、ファシリテーター育成に関して、今年度実施したファシリテーター説明会におけるファシリテーションスキル説明用スライドについて、次年度は人材育成部会において丁寧に作成・実施していきたい。</li> <li>・また、演習指導者養成研修受講者がファシリテーターを担う際、不安が大きい傾向があることから、ファシリテーター説明会において、メインファシリテーターに配慮をしてもらえようをお願いしていくこととした。</li> <li>・さらに、演習指導者養成研修受講者は事前にスライドを読み込んで研修に臨む中で、メインファシリテーターによるスライドの大幅な変更により戸惑いが生じているケースがあったため、今年度に変更したスライドを提出してもらい、次年度のスライドに反映させることとした。これにより、初めてファシリテーターを担う方の負担軽減を図りたい。</li> <li>・また、初任者研修・現任研修のファシリテーターを初めて担う方についても、ファシリテーター説明会及び当日の教室運営において、メインファシリテーターに配慮していただけるよう依頼していきたいと考えている。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲垣副委員長からの報告について、補足、意見、質問等ないか。</li> </ul>
各委員	(質問等なし)
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に、サポーター部会、蛭川副委員長より報告をお願いする。</li> </ul>
蛭川副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の取組として、サポーター参加の目的の整理を行ったうえで、サポーター導入日程を初任者研修3日目とすることについて、検討会で確認した。</li> <li>・あわせて、今年度の初任者研修ファシリテーターアンケートにて、サポーター導入に当たっての課題抽出を行った。アンケート回答者52名中22名(半数弱)より不安があると回答があった。不安の内容としては、研修進捗がタイトなため、サポーターを十分にフォローできるか、サポーターの疲労度の心配、ファシリテーター自身がサポーターとの関係性を構築できるか、といったことが挙げられた。一方で、不安を示したファシリテーターを含め、サポーター再導入については概ね好意的な意見が多いため、来年度は、ファシリテーターの不安を軽減するための準備が必要であると感じている。</li> <li>・また、サポーター候補者数については、関係団体への聞き取りを行った。ファシリテーターからの推薦も含め、目標とする90名以上の確保について確実な見通しを立てるには至らなかったものの、半日程度の参加であれば対応可能と考えられる人数が一定程度見込まれることを確認した。</li> <li>・残された課題及び来年度への引継ぎ事項については、サポーター導入に伴う初任者研修3日目と4日目の研修内容の見直し、また、サポーター候補者の募集要件の調整が必要と考えている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的には、サポーターは原則として計画相談の利用者を想定しているが、精神障害分野では地域活動支援センターのみの利用で計画相談を利用していないピアサポーターの方もいることから、障害者ピアサポート研修修了者であれば、必ずしも現在サービスを利用していなくても可とするか等について、具体的に詰めていく必要がある。</li> <li>・あわせて、サポーターの発言場面をあらかじめ設定しておき、メッセージを事前に準備してもらうのが良いか等、役割、求める内容の明確化と併せて具体的に整理していく必要があることを確認した。</li> <li>・また、サポーター導入初年度となる令和9年度に向けて、ファシリテーターとサポーター双方を対象とした顔合わせ及び説明の機会をどのように設けるかということや、その前段として、三障害の当事者に協力を得た演習のプレ実施ができないか、サポーター用プロフィールの作成もできると良いのではないかなど、課題が多いと感じている。</li> <li>・いずれにせよ、サポーター部会としては、ファシリテーター及びサポーターが安心して演習を進められる環境整備を行うとともに、サポーター導入が受講者にとって効果的なものとなるよう、来年度も引き続き検討していく。</li> <li>・なお、他の部会に意見を求めることは特に無い。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蛭川副委員長からの報告について、補足、意見、質問等ないか。</li> </ul>
各委員	(質問等なし)
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続いて、研修ごとの検討部会の進捗状況を事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の検討会以降から今回までの主な動きについて説明するので、各部会から補足等があればお願いしたい。</li> <li>・まず、現任研修について、令和8年度の研修実施に向け、チームで打合せを行いながら、3月末の締切に向けて演習ノートの作成を進めていただいている。併せて、多職種連携及びコミュニティワークの2本の講義動画を撮り直すため、現在、資料作成を進めていただいている。</li> <li>・次に、主任研修について、3月4日に研修が終了し、3月16日に主任研修部会で振り返りを行う予定。今年度はシラバスの見直し及び事前課題の大幅な変更を行ったことから、この点についても振り返りで確認する予定。</li> <li>・続いて、初任者研修について、1月30日に全日程が終了し、2月26日に部会で振り返りを行った。5ピクチャーズ等の演習の流れを変更したことで、進行がスムーズになった一方、演習ノートや資料の文言等について見直しが必要な点が確認され、次年度に向けた検討につなげることとした。また、令和9年度のサポーター導入に向け、サポーター部会と初任者研修部会が連携しながら検討を進める予定。</li> <li>・次に、演習指導者養成研修について、2月10日に初任コース3日目が終了し、今年度の全日程を終えた。3月12日に、振り返りを行う予定。今年度は申込者数が昨年度より増加したものの、現任研修の受講者が減少した影響によ</li> </ul>

	<p>り受講枠の拡大ができず、人材育成の必要性は感じつつ対応が難しい状況。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最後に、専門コース別研修（障害児支援）について、2月16日から23日まで動画配信を実施した。3月17日にサービス管理責任者側の検討委員を含めて振り返りを行い、部会としての活動を終了する予定。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修ごとの部会メンバーから補足、質問等あるか。</li> </ul>
各委員	(質問等なし)

(2) 令和7年度相談支援従事者研修検討会 活動報告(事務局案)の確認

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動報告（事務局案）の確認のため、事務局から報告をお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料2参照。目的及び年間活動方針、委員構成は資料記載のとおり。</li> <li>活動状況について、検討会は、年間4回の活動を実施した。</li> <li>2ページ目の検討体制について、今年度より課題別部会を2体制から3体制に変更し、資料のとおり委員の皆様は役割分担をお願いした。</li> <li>打合せ回数について、課題別部会は、昨年度から検討会内で打合せを行うことで、検討会以外での会議は減らすことができた。一方で、研修別部会については、引き続き負担が大きい状況であり、特に専門コース別研修1は8回、主任研修は11回と、打合せ回数が多くなってしまった。また、資料に記載した以外にも、研修別部会内の分担内容に応じて、さらに細分化したオンライン打合せ等を実施されていて、委員の皆様のご協力により研修が成り立っていると改めて感じている。</li> <li>続いて、活動成果について、各部会からの報告内容を基に、年度当初の活動方針に沿って項目ごとに整理している。詳細については、資料記載のとおり。</li> <li>引継ぎ事項1の実習説明会の検討と実習対応のバックアップについて、区市町村を通じて実習対応者が実習説明会に参加できるよう、さらなる働きかけが必要との意見があった。これまでも事務局から区市町村へ周知依頼は行ってきたが、さらなる働きかけ方法について事務局でも検討を進めるとともに、委員からの提案があれば教えていただきたい。</li> <li>引継ぎ事項2のファシリテーター育成の検討について、ファシリテーター育成は短期間で成果が出るものではないため、今年度の取組を強化するために、次年度はファシリテーター説明会で使用する追加スライドの作成や、メインファシリテーターの役割として盛り込んでいく。</li> <li>引継ぎ事項3の「相談支援専門員役割紹介」資料の活用について、令和8年度の初任者研修に導入できるよう検討するとともに、初任者研修部会へ橋渡しができるよう、事務局及び部会員とで取り組んでいきたい。初任者研修への具体的な組み込み箇所については、初任者研修部会での検討が良いのではないかとということで、引継ぎ事項として伝えておきたい。</li> <li>引継ぎ事項4の地域資源調べ資料について、今後予定されている主任研修の振り返りを踏まえ、新たに取り入れた内容も含め、今後の書式を検討することと</li> </ul>

	<p>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引継ぎ事項5の初任者研修におけるサポーター参加の検討について、令和9年度当初から具体的な募集を行う必要があることから、それに向けた準備を着実に進める必要があると考えている。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明について、質問や意見はあるか。</li> </ul>
各委員	(質問等なし)

(3) 令和8年度検討体制(案)について

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度検討体制(案)について、事務局から説明をお願いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3に沿ってお伝えする。</li> <li>・まず、全体像として、次年度も研修別の部会と課題別の部会を設置する。検討委員は双方に所属していただき、それぞれの活動について検討会で共有、議論していく。</li> <li>・課題別の部会から研修別の部会へとつながる課題、またその逆の場合も確実にリンクして進められるようにする必要があると考えている。</li> <li>・研修別の部会について、活動内容は記載のとおりで主に部会ごとに打合せを行う。国研修の内容を反映した研修のプログラムや教材の見直しを検討する。また、ファシリテーター説明会の資料作成と講師も研修別の部会員に担当していただきたいと考えている。資料等の仕上げについては、引き続き事務局で行う。</li> <li>・活動方針としては、課題別の部会と連携して進めること、長期的な展望を持って人材育成ができるような体制と運営を行うために、検討会委員の卒業者に、引き続き部会員をお願いしたり、ファシリテーター経験者に前年度中から打診したうえで、研修別の部会に参加してもらい、将来的には検討委員を担っていただくことなどを考えている。</li> <li>・部会長は、原則2年以上経験のある検討会委員から選出をする。</li> <li>・部会員の人数については、おおむね記載のとおりとしたい。検討委員と協力員で構成する。専門コース別研修1については、来年度も同じ内容で実施することを前回の検討会で了承いただいたため、部会は設置しない。</li> <li>・課題別の部会については、本年度と同様の人数で活動を行う方針。</li> <li>・研修全体を支える仕組みづくりとしては、記載のとおり。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまでの検討を踏まえてご意見や提案はあるか。</li> </ul>
各委員	(意見等なし)

(4) その他

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他について、何かあるか。</li> </ul>
古橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修及び現任研修のオンラインでの演習の状況について知りたい。自身は直接関わらなかったため、スムーズに進んだのか、次年度に向けて課題があるか。</li> </ul>

	<p>るのか教えていただきたい。オンラインでの演習は、対応可能なスキルがある方に限定されることからファシリテーターの不足もあるかと思う。</p>
<p>修理委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現任研修部会員の立場から、今年度、オンラインのメインファシリテーターを担当した。今年度に限ったことではないが、教材の内容として、自分の地域を振り返るとか、自分自身を振り返るといった課題にしているため、「個人ワークと発表」という進行が多い。その場合、個人ワークを行っている際の手元が見えず、どの程度できているか判断が難しい。 最終的にはグループワークで作成したものを発表してもらおうが、その際に「発表できる状況にない」ということもあり、ファシリテーターにフォローをお願いする場面は多々ある。</li> <li>・ また、理解度をそろえることが難しい。会場であれば、メインファシリテーターが説明をしている間、理解できていない様子が表情から把握しやすいため、進行しながら声かけをするなどのフォローができるが、オンラインでは、講義を聞いてもらうしかなく、個別のフォローが非常に難しいと感じている。</li> <li>・ そうした点に限って、オンラインの受講者は理解度が低い印象がある。事業所から出にくい、立場のある方や、気軽にオンラインにしてみたものの、実際には操作方法が理解できていない受講者もあり、毎年トラブルが起きている印象がある。一方で、離島の方などは、オンラインだから参加できるという側面もあるので手法としては残していただきたい。ただし、どのように実施するかは非常に難しい。</li> <li>・ また、教材作成する立場としては、会場用とオンライン用で全く異なる教材を作成するのは正直難しく、会場用の教材を作成し、オンライン用に多少修正する対応が精いっぱいであると感じている。</li> </ul>
<p>藤田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初任者研修のメインファシリテーターを担当した。</li> <li>・ ここ数年、オンラインのメインファシリテーターをすることが多い。よい意味で、ファシリテーターはほとんど固定しているため、おおよその様子は把握しており、上手に進めていただいている。</li> <li>・ 修理委員の発言のとおり、オンライン操作そのものが不慣れな受講者の場合、習熟度に差が出てしまうと感じている。</li> <li>・ また、オンラインの場合、事前課題の確認が、画面共有された時点でしかできないというデメリットもあり、課題の完成度が低い受講者について、その後の対応を事務局と相談しながら進めている。</li> <li>・ 特に声の大きな受講者がいるわけではないため、各グループで上手に進めてくれているが、集合型の研修と異なり、一人で取り組む時間が非常に多い。そのため、少し分からなくなってしまうと、そこからついていくことが難しくなったり、そのフォローをどう行うかという点は課題だと思っている。 私自身も進行の際、全日程を通して、必ず全員が発言できるように指名するようにしている。受講者が少しでも研修を自分のものとして持ち帰れるよう工夫</li> </ul>

	<p>はしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンのトラブルについては、受講者だけでなく、運営側にも比較的多く発生している。研修の最後に、自身のパソコンが止まったこともあり、ある程度仕方がない部分もあると思っている。それらも踏まえ、事前準備が必要と感じている。</li> </ul>
吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかに意見、質問等あればお願いしたい。</li> </ul>
各委員	(意見・質問等なし)

### 3 閉会

吉川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございました。議題が全て終了したため事務局へお返しする。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉川委員長、皆様、ありがとうございました。</li> <li>・本日、今年度最後の検討会となるため、地域支援課長より挨拶させていただく。</li> </ul>
事務局（地域支援課長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回東京都相談支援従事者研修検討会に出席いただき、誠に感謝している。令和7年度の東京都相談支援従事者研修については、皆様の尽力により、無事に全ての研修を終えることができた。研修の企画及び準備に当たり、多くの時間を割いて検討いただいた検討委員の皆様、研修協力者の皆様に、心より御礼を申し上げます。あわせて、延べ180名を超える演習講師の皆様に協力をいただいた。多大なる尽力を賜ったことについて、改めて感謝を申し上げます。皆様の温かい支援の下、今年度は現任研修が386名、初任者研修が534名の方に研修を修了していただくことができた。毎年多くの方に支えられて本研修が成り立っていることを、研修事務局一同、深く感謝している。</li> <li>・藤田委員については、今年度をもって本検討委員を退任される意向を伺っている。藤田委員には、平成24年度から研修づくりに協力いただき、令和2年度から6年間にわたり、本検討委員として尽力いただいた。その間、副委員長としても本検討会を牽引していただき、多大な貢献を賜ったことについて、心より感謝を申し上げます。なお、次年度以降も、研修教材づくりや、ファシリテーターとして引き続き協力をいただけると伺っている。検討委員としての役割を終えられた後も、引き続き東京都の相談支援従事者研修に力添えを賜れば幸いである。どうぞよろしくをお願いしたい。</li> <li>・ここで、藤田委員より一言いただきたい。</li> </ul>
藤田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な時間をいただき、感謝している。本日をもって、検討委員を退任させていただくことになった。</li> <li>・先ほど紹介いただいたとおり、2011年から2012年頃に最初に関わり、その後、四年ほど検討委員を務め、気がつけば十五年ほどが経過した。振り返ると、右も左も分からない中で、当時の精神分野や知的分野の皆さんと一緒に、意見を交わしながら研修づくりを行ったことを懐かしく思い出している。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんは今も現場の最前線で活躍されており、その背中を追って新しい相談支援専門員が次々と育っていく様子を、本当にうれしく、また頼もしく、この間ずっと見させていただいた。</li> <li>・研修づくりは、その時に関わる人や内容によって、その時代の色があるとも思っている。時代が進むにつれて、新カリキュラムへの変更や、コロナ禍への対応としてのオンライン研修への挑戦、さらには地域の人材やファシリテーターの育成などについても、非常に悩まされたと感じている。どのようにすれば受講者に有益な研修になるのか、また、ファシリテーターにとってグループが進めやすくなるのかといったことを日々話し合いながら、研修づくりの楽しさや難しさを感じつつ、自分自身も多くのことを学ばせていただいた。</li> <li>・特に長い時間関わってきた現任研修については、非常に深い愛着も湧いているが、今年度は皆さんに少し迷惑をかけてしまった場面もあった。それにもかかわらず、非常に温かくサポートしていただき、本当に助けられたと感じている。</li> <li>・今後は、直接関わる機会は少なくなるかもしれないが、今の席を新しい方に譲り、少し離れた場所から検討会を思い出しながら、相談支援に取り組んでいきたいと思っている。</li> <li>・これまで一緒に取り組んできた検討委員の皆さん、そして心身障害者福祉センターに在籍していた職員の皆さんも含め、研修づくりを支えてくださった全ての皆さんに対して、感謝の思いしかない。これまで多くの学びの機会をいただき、本当にありがとうございました。</li> </ul>
事務局（地域支援課長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤田委員、ありがとうございました。最後になるが、今年1年間、多大なるご協力を皆様からいただきまして、本当にありがとうございます。次年度におかれましても、変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願いいたします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に事務連絡をする。本日の配付資料と議事録要旨については、メーリングリストで確認をお願いするので、協力願いたい。</li> <li>・次年度の予定について、第1回が5月18日月曜日の午後2時から4時、第2回が8月7日金曜日2時から4時、第3回が12月18日金曜日の2時から4時、そして第4回が3月9日火曜日の2時30分から4時30分となる。詳細については、また実施が近付いたらご案内する。</li> <li>・以上で閉会とする。検討会へのご参加、ありがとうございました。</li> </ul>